

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。  
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

## 秋吉台山逍遙記

## ～ちょっと美文調で調子よく～

若草萌ゆる丘の上、長者が森の木の間より、遠く霞める龍護峰。額の汗をあまないつ、昔偲ぶか良悟松。石灰岩の岩陰に、一人静の白い花、去年出逢ひし翁草、今日は何処の葉陰やら。すみれの色の思ひ出は、淡き昔の恋の色、甘き辛きの年を経て、今も懐かし青春の夢。冠山の頂上の、遥かに見ゆる地獄台、聞けど語れどなほ尽きぬ、三億年の物語。石灰岩のここかしこ、羊の群れを思はする、数や幾つと人間はば、数ふることはあるまじく、大なるかたまりただ一つ、かくあるべしと我答ふ。山を下りてたどりなば、今一服の帰り水、汲めば至極の心地あり。あゝ悠久の秋吉台。春爛漫の逍遙記、一卷の終わりと致します。



### オドリコソウ(踊子草)

### 初めて見た時の感動

オドリコソウを初めて見たときは「これが野に咲く花か」と思って何枚も写真を撮りました。まさに踊り子が舞っているようです。それから数年過ぎると、あちらこちらに群生しているのに気がつきました。ヒメオドリコソウと、これまた可愛い名前をもらってますが、畑や庭の厄介者です。抜いても次の年にはまた生えてきます。まれに白花種を見かけます。キバナオドリコソウが林内に群生しているのを見たときは「誰かが植えた」のだらうと思いました。広い範囲に群生していましたが、だんだんと少なくなっているようです。



## 化石採集体験(4月8日)

## 石灰岩は化石のかたまり、フズリナばかり?

大正洞桜まつりと併行して「化石採集体験」を行いました。天気もよくなったせいもあってか、大勢の参加申し込みがあり、開催時間を延長しました。石灰岩をノミとハンマーで叩いて割りますが、小さいお子さんは、ハンマーが重たくて大変なようでした。手のひらサイズのを希塩酸に浸した後、水で洗います。すると化石がよりはっきりと見えるようになります。「フズリナばかりだ」と言いながら、熱心に根気よく取り組んでいました。きれいになった化石は、記念に持って帰ることができて嬉しそうでした。



## 大正洞桜まつり

## 満開の「大正洞のしだれ桜」が見ごろ

4月8日当日の朝は、断続的な雨が降って「また今年も雨か」と準備を始めましたが、その後は天気が回復して、数年ぶりに好天の日で開催となりました。中屋会長から開催の挨拶があり、いろいろな演技などの披露があって楽しい終日でした。マジシャンいっしんのマジックでは、小さな子どもたちが興味津々でした。例年遅咲きのしだれ桜が、今年は早く咲いて満開の見ごろでした。



## 動物たちも活動開始!!

## 春の陽気にさそわれて~~

ヌートリアが出て来ているよと連絡を受けて駆け付けました。大きなネズミのようですが、動きはゆっくりでした。カメラを向けると、のっそりと歩いて帰りました。その近くの草の茂みの中にノウサギがじっとしていました。怪我でもしているのだろうかと思えば、ピョンと飛び出して逃げていきました。別の日に、大きなイノシシが道路をのしのしと歩いて横断中に出会いました。「何か文句があるか」と言っているように見えました。



## 5月の行事

5月13日(日) カエルが待っている

田んぼのビオトープに出かけてカエルたちを観察します。